

1. 着度数 INDEX とは

1.1. はじめに

「競馬とは？」と考えた場合、ギャンブル、ロマン…等という答えが一般的と思う。

でも、良く考えてみると「競馬とは競馬サークル(競馬を生業とする集団)内での経済活動である」という結論にたどり着いた。つまり、「競馬サークルという限られた中での決められた賞金の取り合い」ということである。

競馬は勝負の世界なので、当然、勝者と敗者に別れる。敗者は淘汰されていくのは自然な流れである。しかし、勝者だけが勝ち残るシステムでは競馬は成り立たない。敗者も必要なわけである。18頭立ての競争の場合、勝者1に対し、敗者17が必要となる。そうすると敗者であっても継続できるシステムが必要となる。

これらを維持するために考えられたシステムこそ現在の「**賞金体系**」である。

1.2. 賞金体系

賞金を分類すると以下の通りとなる。

①本賞金

出走馬のうち、1着～5着までに交付される賞金。

②付加賞

特別競争登録料の総額が1・2・3着馬に7:2:1の割合で交付される。

③出走奨励金

出走馬のうち6着～8着までに対し、1着本賞金の8%、7%、6%に相当する奨励金が交付される。

④特別出走手当

一定の条件を満たした出走馬全てに交付される。

⑤距離割増賞

重賞以外の距離2000m以上のレースに出走した馬について交付される。

⑥内国産馬奨励賞

「混合」及び「国際」の競争に出走し5着以内に入賞した内国産馬に交付される。

(但し、外国産馬の出走がなかった場合は交付されない)

⑦父内国産馬奨励賞

5着以内に入賞した出走馬が父内国産馬であった場合に交付される。

⑧市場取引馬奨励賞

5着以内に入賞した出走馬が市場取引馬であった場合に交付される。

基本的に本賞金、付加賞、出走奨励金が競走馬自身の稼いだ賞金であり、その他は弱者救済的な意味合いが強い。
なかでも、本賞金が基本となる。では、本賞金の金額はどうなっているのかを以下に説明する。

表-1 本賞金の割合

着順	賞金割合
1着馬	100%
2着馬	40%
3着馬	25%
4着馬	15%
5着馬	10%

表-1からわかるように、各着順に応じて賞金配分が決められている。

つまり、1着の価値を10とすると2着の価値は4という形になる。

1.3. 着度数を使った評価

着度数とは、競馬新聞などで良く見かける「2-1-0-5」などの数字である。

「1着数-2着数-3着数-4着以下」で表されるのが一般的である。

従って、「2-1-0-5」とは1着2回、2着1回、3着0回、4着以下5回の成績であったわけである。

この着度数を利用した単勝率・連対率・複勝率等が予想ファクターとして利用されている。

確かに確率が高いほど優位であることは確かだが、一つの大きな問題がある。

表-2で説明する。

表-2 確率での評価

	着度数	勝率(%)	連対率(%)	複勝率(%)	クラス
A馬	1-1-0-2	25.0%	50.0%	50.0%	500万下
B馬	2-0-0-2	50.0%	50.0%	50.0%	1000万下
C馬	5-0-0-6	45.0%	45.0%	45.0%	オープン
D馬	0-2-0-1	0.0%	66.7%	66.7%	未勝利
E馬	0-0-1-0	0.0%	0.0%	100.0%	未勝利

表-2はある未勝利～オープン馬までの成績を着度数と確率で表している。

各確率で評価をした場合、以下の通りとなる。

勝率での評価 : B>C>A>D=E

連対率での評価 : D>A=B>C>E

複勝率での評価 : E>D>A=B>C

実際の実力 : C>B>A>D≒E

勝率・連対率・複勝率とも実際の実力を正確に評価できていない。

何故だろうか？

競馬の場合、1勝する毎にクラスが上がる。従って、1勝より2勝、3勝と勝利を重ねるのが難しい。

逆に、2着以下に負ける馬はたくさんいる。

勝率の場合、1着とそれ以下が同じ比率で扱われることに問題がある。

つまり、1勝と1敗が同じ重みであること自体が実情とあっていない。

連対率・複勝率も同様で、こちらは1着～2着、1着～3着と4着以下が同一に扱われることが問題である。

では、着順の重みとは何であろうか。

それこそ、競馬の基本となる賞金である。

前述した通り、1着と2着の賞金差は2.5倍ある。

すなわち、1着と2着の価値は、2.5倍であると言える。逆に着外は0の価値しかない。

では、表-2を賞金の価値で表した場合を表-3に示してみる。

表-3 賞金の価値での評価

	着度数	賞金の価値	クラス
A馬	1-1-0-2	14	500万下
B馬	2-0-0-2	20	1000万下
C馬	5-0-0-6	50	オープン
D馬	0-2-0-1	8	未勝利
E馬	0-0-1-0	2.5	未勝利

※1着=10、2着=4、3着=2.5で計算

※計算式=(1着数×10)+(2着数×4)+(3着数×2.5)

賞金の価値での評価 : C>B>A>D>E

実際の実力 : C>B>A>D≒E

となり、かなり実情に合っている。

しかし、この計算では、実は不十分な部分がある。

例えば、5-0-0-0と5-0-0-20の馬がいた場合、上記の計算では同じ50となる。

しかし、5戦で50の馬と25戦で50の馬とどちらが強いだろうと考えると5戦で50の馬が強いと思われる。

そこで、上記の数式を(着外数+1)で割るという方法を用いることで、その差異を明確にする手法を考えた。

この場合は、

5-0-0-0 : 50

5-0-0-20 : 2.38

となる。

これこそが、着度数 INDEX である。

着度数 INDEX 計算式

$$\{ (1 \text{ 着数} \times 10) + (2 \text{ 着数} \times 4) + (3 \text{ 着数} \times 2.5) + (4 \text{ 着数} \times 1.5) + 5 \text{ 着数} \} / (\text{着外数} + 1)$$

※着外数+1で割るのは、着外0の馬の数値が∞になること防ぐ為である。

※3着までの着度数の場合は、4着・5着も着外へ入れる。

では、表-3を着度数 INDEX で表してみる。

表-4 着度数 INDEX での評価

	着度数	賞金の価値	クラス
A馬	1-1-0-2	4.67	500万下
B馬	2-0-0-2	6.67	1000万下
C馬	5-0-0-6	7.14	オープン
D馬	0-2-0-1	2.00	未勝利
E馬	0-0-1-0	2.50	未勝利

これにより、各馬の実力差も含め実情に合った順列で並んでいることがわかる。

1.4. 着度数 INDEX の使用例

着度数 INDEX は、

- ・出走馬の実力比較
- ・騎手・調教師の比較
- ・各ファクターの傾向分析

など、用途は多い。

しかも、母数の多いものと母数の少ないものの比較した場合に発生する母数の少ないものの誤差についても、割る数を(着外数+1+ α)として、 α の数値を変えることで、重み付けを変えて誤差を押さえることが可能である。